

寄附・寄贈者芳名 (～1月31日)

御寄附・御寄贈いただき、誠にありがとうございました。

一般社団法人生命保険協会沖縄県協会様(10.15)



【写真左から3番目】(一社)生命保険協会沖縄県協会会長 河野 秀典 様

沖縄トヨタグループ様/沖食グループ様(10.30)



【写真右から2番目】沖食糧株式会社代表取締役社長 中村 徹 様

株式会社サンレー様(12.10)



【写真左から3番目】株式会社サンレー代表取締役社長 佐久間 康弘 様

株式会社琉球ドラゴンプロレスリング様(12.12)



【写真左から1番目】株式会社琉球ドラゴンプロレスリング代表取締役 グルクンマスク 様

上原 吉二様(12.17)



【写真左から2番目】上原 吉二 様

オリオンビール株式会社様(12.26)



【写真左から2番目】オリオンビール株式会社代表取締役社長 兼 執行役員社長 CEO 村野 一 様

にしはらバイオエナジー株式会社様(12.26)



【写真右から2番目】にしはらバイオエナジー株式会社代表取締役社長 大城 邦夫 様

株式会社エフエム沖縄様(1.24)



【写真左から3番目】株式会社エフエム沖縄取締役副社長 長濱 弘忠 様

ろうきんおもしろまち地区推進委員会様/ろうきん県庁地区推進委員会 様(1.28)



【写真左から4番目】ろうきんおもしろまち地区推進委員会推進委員長 川平 朝之 様

【写真左から1番目】ろうきんおもしろまち支店 高良 夏子 様

【写真右から2番目】本会 会長 湧川 昌秀

写真掲載以外の寄附・寄贈者芳名

- エヌエヌ生命保険株式会社 様
○公益社団法人 沖縄県宅地建物取引業協会 様
○匿名の方々からも御寄附いただきました

※本会への寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは総務企画部まで

福祉情報

おきなわ

Vol.

220

2025.3.1



作品名：「山原の里」(第14回かりゆし美術展 工芸の部/かりゆし賞)
作成者：山田 トミ子 さん(那覇市)

目次

- 2 特集：沖縄県社協社会福祉振興基金 令和5・6年度地域福祉活動モデル事業「市町村圏域における多様なネットワークづくりモデル事業」経過報告
4 各市町村で一緒に活動する民生委員・児童委員を募集しています！
5 社会福祉施設等に共通する重点課題への対応について協議！
6 「沖縄県の福祉・介護分野における人材育成ガイドライン」活用しませんか！ 他
7 第15回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展開催 第36回全国健康福祉祭とっとり大会
8 沖縄県介護実習・普及センター「見て、触れて、試す」最新福祉用具紹介
9 沖縄県福祉人材研修センターで実施する貸付制度のご案内
10 令和6年度NHK歳末たすけあい募金助成団体が決定しました！ 他
12 寄附者芳名、表紙の作者のご紹介 他

広報誌「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部に共同募金配分金を活用しております。

社協福祉ライブラリーから

本を紹介

対人援助職に効く 人と折り合う流儀：職場での上手な人間関係の築き方 著：竹田 伸 / 出版社：中央法規出版

「対人援助職に効く」シリーズの3作目!! 今回のテーマは、「居心地のよい職場づくり」...

表紙の作品

作品名「山原の里」



作成者：山田トミ子さん

山田トミ子さん(93歳)は、定年後にお友達と一緒にサークルへ通い始め、ちぎり絵を始めました。今回の作品の題材は、瓦葺の家が好きな山田さんが、カレンダーに掲載された素敵な写真「沖縄の赤瓦の家」を元に作り始め、自宅です少ずつ3ヶ月ほどかけて完成しました。

編集・発行

沖縄県社会福祉協議会 沖縄県共同募金会

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1(県総合福祉センター内) tel.098-887-2000 fax.098-887-2024 www.okishakyo.or.jp

制作/株式会社スイッチ



県社協社会福祉振興基金

令和5・6年度地域福祉活動モデル事業 「市町村圏域における多様なネットワークづくりモデル事業」経過報告



沖縄県社会福祉協議会では、『社会福祉振興基金助成事業』として地域福祉のニーズに対応した先駆的、開拓的な取り組みに対し「地域福祉活動モデル事業」を行っています。令和5・6年度は、THANKS（サンクス）運動の一環として、社会的孤立の解消や防止に繋がる取り組みを普及させることを目的に、市町村社協を対象に「市町村圏域における多様なネットワークづくりモデル事業」を実施し、うるま市、八重瀬町、与那原町の3市町村社協をモデル指定しています。今回は2年間の事業実施状況や、今後の展望についてご紹介します。

【うるま市社協】

地域でつくる子ども体験事業

うるま市社協では、地域で作る子ども体験事業「うるまキッズサマースクール」の実施に向け、多様な地域団体（社協、役場、観光特産協会、商工会、特定非営利活動法人等）で構成される実行委員会や子ども主体の子ども会議を通し、地域福祉や地域防災を学び・育む福祉教育プログラムを作成しています。

令和6年度は、前年度に参加した子どもたちに関わってもらい、年度や学校・学年を越えた子ども同士のネットワークの構築を強化しています。

体験後は、子どもたちの中から代表者6名を選出し、活動報告の動画を作成し、YouTubeにて公開しています。また、うるま市福祉まつりでは、ステージにて発表を行い、そのときの様子もYouTubeにて公開しています。

このように、参加した子どもたちが学び・体験したことを地域へ発信する取り組みも実施しています。

2年間のモデル事業終了後も活動を継続し、構築したネットワークを通して、物資の提供、プログラムへの協力、予算の確保により一層取り組んでいくということです。



▲うるま市福祉まつりの様子



▲うるまキッズサマースクール動画



▲学び・体験したことを発表する様子



▲うるまキッズサマースクールに参加した子どもたち

【八重瀬町社協】

つながりピアサポート事業

八重瀬町社協では、人と人、人と地域が繋がる場として「通える場所（居場所）」の必要性から、「大人の居場所交流会」や「女性の居場所交流会」を実施しています。

令和5年度は、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）や生活福祉資金貸付担当者等が関わる引きこもり、社会的孤立、要支援者等に居場所を提供し、「自立支援」「社会的役割」「地域との繋がり」を意識した参加支援を行いました。また、「大人の居場所」として対象者が参加しやすいよう「農業」×「福祉」、「芸能・音楽」×「福祉」など多様な分野の活動を掛け合わせたプラットフォームの居場所づくりを展開しました。併せて、世代間交流として、「大人の居場所」参加者が凧を制作して保育園児に凧あげを教えることを通して、地域福祉の担い手として役割が発揮できる機会を設けました。

令和6年度は、前年度に引き続き「大人の居場所交流会」を開催するとともに、課題となった女性の参加率の低さを改善すべく、新たに「女性の居場所交流会」を実施し、鑑賞菊作り、料理教室、ほっこり体操など、女性が参加しやすいような活動を展開しています。

今後は、「大人の居場所交流会」などの参加者を対象にボランティア研修会を実施し、緩やかにボランティアに繋げ、地域に出るきっかけづくりとなるよう取り組みを広げていくということです。



▲女性の居場所交流会 ~ほっこり体操~



▲大人の居場所交流会 ~こだわり食堂~



▲農福体験講座 (サツマイモの植え付け体験)

【与那原町社協】

子ども支援ネットワーク事業

与那原町社協では、町内で子どもの支援活動をしている個人・団体・居場所等が繋がり、ノウハウや課題の共有を図り、制度の狭間にある課題に対して「点」ではなく「面」で対応することで地域課題の解決を目指しています。そのため、定期的に情報交換会の場を設けるとともに、資質向上のための学びのプログラムの構築を目指しています。

令和5年度は、コーディネーターを配置し、町内外の子どもの居場所団体や支援を行っている関係者のところへ出向き、実態把握のためのニーズ調査を実施しました。また、「子どもの居場所ネットワーク連絡会」を立ち上げ、支援者同士が顔の見える環境を作り、課題の整理や今後の取り組みについて協議を行いました。

令和6年度は、「子どもの居場所ネットワーク連絡会」で情報共有を行うだけでなく、協働でイベントを企画し、「きッズプレーパーク」として自由創造遊びの場を設けました。「きッズプレーパーク」の実施を通し、子どもに関わる個人・団体の繋がりが強化されるだけでなく、町内の子どもの居場所のPR活動を行うことが出来ました。

今後は、子どもの居場所を支援していただくボランティアの名簿整理や、民間助成金等の財源確保に向けた取り組み、寄贈食料・物資の有効活用に向けての調整等を行い、地域全体で子ども支援に取り組めるような体制を整備していくということです。



▲子どもの居場所ネットワーク連絡会の様子

県社協では、引き続き、令和7・8年度も市町村社協を対象に「市町村圏域における多様なネットワークづくりモデル事業」を実施していく予定です。事業を通し、支援に携わる専門職のみならず、地域住民をはじめとする様々な関係機関・団体等が連携し、それぞれの強みが生かせるネットワーク（プラットフォーム）の強化を推進していきます。



▲プレーパーク ~段ボール遊び~

▲夏休みの居場所づくり

県社協社会福祉振興基金

は、高齢化社会の福祉ニーズに対応するため、県及び市町村の協力のもとに、広く県民の皆様の参加によって基金が造成され、基金原資の果実を財源として、民間社会福祉活動を助成するとともに、社会福祉思想を高揚し、本県の社会福祉に寄与することを目的として昭和55年8月22日に設立されました。今回紹介した「地域福祉活動モデル事業」の他、「社会福祉施設の施設整備事業」や「社会福祉団体等の活動事業」、「緊急・小口助成事業」などの助成事業も実施しています。

【問い合わせ】いきいき長寿センター TEL 098-887-1344 FAX 098-887-1349



助成金
ホームページ



各市町村で一緒に活動する 民生委員・児童委員を募集しています！

自分にできることを活かして、地域の皆さんと協力し合い、
安心して暮らせる場所を作っていきますか。

今年の12月1日に民生委員・児童委員（以下、民生委員）の一斉改選が行われます。令和4年12月の一斉改選では、全国の充足率が93.7%に対し、本県は72.1%（定数2,481名に対して委嘱数1,788名）となっていました。令和6年10月1日時点で78%（委嘱数1,936名）まで回復していますが、依然として、なりて確保に向けては厳しい状況が続いています。県社協においても、次期一斉改選に向けて、県行政や県民児協との意見交換会を通じて、連携を図りながら、ラジオやイベントでの広報活動に積極的に取り組んでいます。

沖縄県と連携した“なりて確保”に向けた広報活動

民生委員活動を紹介するPR動画の作成



“気負わず、まずは民生委員になってみて、自分ができるところを続けてみては”

大型商業施設内での活動啓発イベント 民生委員の活動紹介、やりがい等のPR



民生委員活動を紹介するPR動画の作成



“誰かのためにと始めた活動が自分のためになっていました。”

沖縄県民児協の“なりて確保”に向けた取り組み

かりゆし長寿大学校での民生委員に関する講義



“誰かの役に立てることがあり、感謝の言葉（ありがとう！）が気持ちを優しくさせる。生きがいとなる。”
一緒に活動してみませんか？
沖縄県民児協副会長 安里信美

R7年1月24日（金）に沖縄県生活福祉部と意見交換を実施！



沖縄県生活福祉部長、生活福祉統括官、参事と県民児協役員（正副会長4名）を交え、次期一斉改選に向けて意見交換を行い、引き続き、行政・社協・民児協の連携を強化していくことを確認しました。

社会福祉施設等に共通する重点課題（物価高騰、災害福祉支援体制、不適切事案の未然防止、人材確保等）への対応について協議！

～ 令和6年度 各種別協議会代表者会議を開催 ～

昨今の長引く物価高騰の影響や福祉人材確保の課題、全国各地で相次ぐ大規模災害時の利用者の安全確保・福祉サービス継続、虐待等不適切事案の未然防止など、すべての社会福祉施設などに共通する課題が山積しております。

県社協では、これら共通する重点課題への対応策や各種取り組みなどの促進を図ることを目的に、令和7年2月4日に各種別協議会代表者会議を開催し協議を行いました。協議内容の一部を下記のとおりご紹介いたします。

種別協代表者会議での協議事項

- ・物価高騰による施設・法人への影響と公的支援について
- ・虐待・不適切な事務処理事案への対応について
- ・大規模災害時における施設間の相互応援の仕組みづくりについて
- ・人材確保・育成・定着について
- ・複数法人連携による公益的な取組について

物価高騰による影響と対応策について ～公費による継続的な財政支援を訴える～

今般の物価高騰は、すべての施設において水道光熱費や燃料費、食材費などの負担が大きくなるなど（R3年度比較で約1.5倍）、施設経営に大きな影響を及ぼしており、公費による物価高騰支援金の対応状況をはじめ、今後の対応策等について協議を行いました。

各施設での自助努力では限界があり、引き続き、県等に対して公費による継続的な財政支援と支援の拡充を訴えていくこととしております。



災害時の利用者等の命を守るための施設間相互応援の仕組みづくりについて ～発災時に助け合える施設間の関係性構築～

近年、大規模災害が全国各地で発生する中、県内施設等においても、利用者等の安全や生活を守るためのサービスの継続体制をいかに確保するかが求められています。

各施設における災害対応の現状と課題を共有しつつ、県内施設間での相互応援の仕組みづくり（災害協定）に向けた取り組みを再確認するとともに、まずは近隣施設間及び同一種別間の「日頃から顔の見える施設間の関係性の構築」を意識した取り組みを進めることが非常に重要であることが確認されました。

虐待・権利侵害・不適切事案（不正請求等）への対応について

～ 今一度、襟を正し、信頼される施設を目指して ～

県内外の福祉施設等における不適切な事案（虐待・権利侵害不正請求等）が相次いで報道される中、利用者支援のあり方や施設内虐待防止の取り組み強化、適正な事務処理体制の強化など、法令順守の徹底と未然防止の取組強化に努めていくことが確認されました。

今後、県社協及び各種別協議会連名文書により、会員施設等へ法令順守の徹底などを呼び掛けるとともに、各種研修の実施、会議等での対応策の検討など、引き続き未然防止体制の強化に取り組んでいくこととしております。

虐待・不適切な事務処理事案等の防止に向けた取り組み 【会員施設向け文書主な内容】

- 職員研修等の取り組み強化
⇒職員の倫理意識と専門性の向上、報酬請求手続きの理解、知識不足や誤解による請求ミス防止の徹底など
- 内部チェック体制の強化
⇒職員同士の確認体制、請求業務等の複数担当者によるダブルチェック体制、関係書類の保管など
- 内部けん制、相談・報告体制等の強化
⇒リスクマネジメント委員会設置、担当者配置

県社協としては、本会議での協議を踏まえ、各種別協議会役員や会員施設・法人で共有しつつ、県内福祉施設のサービス向上や働きやすい職場環境づくりなどを目指し、種別協議会と連携した取り組みの推進に努めてまいります。

沖縄県社会福祉協議会 介護実習・普及センター

福祉用具を「見て、触れて、試す」展示場の最新福祉用具をご紹介します！

県協介護実習・普及センターは、県民全体に介護に関する知識・技術と福祉用具の普及を目的に常設展示場を運営しています。開館日であればどなたでも自由に見学し、福祉用具を見て、触れて、試すことができ、福祉用具の選び方や使い方などのご相談にもお答えいたします。現在、高齢化で介護ニーズは増大する一方、労働力人口は減少し、介護の担い手不足は深刻です。こうした状況の中で注目を集めているのが「介護ロボット」です。

今回は、令和6年度から展示が始まった最新の福祉用具を一部ご紹介します！



～介助者にも、被介助者にも安心とやさしさを～ 移乗アシスト「ロボヘルパー SASUKE」

まずご紹介するのが、移乗アシスト「SASUKE」です。「SASUKE」はベッドと車イスの移乗を専用シートとアームでサポートします。一人の介助者でも軽いついで介助が可能です。被介助者も、専用シート全体で身体を支えるため、体圧が分散され、違和感なく安定した移乗姿勢を保つことができます。



マッスル株式会社公式 HP
「SASUKE」紹介動画はこちら！



歩行訓練や水平移乗も可能！ 床走行リフト「バイキング」

次にご紹介する「バイキング」は移乗だけでなく、転倒防止のベストとアームレストを利用した歩行訓練が可能です。軽量で操作しやすく（最大荷重 205 キロ）、トイレや居室など限られたスペースでも簡単に移乗を行うことができます。また、わかりやすいコントローラーにより、機械に不慣れな方でもスムーズに操作できます。



シーホネン株式会社公式 HP
「バイキング」紹介ページはこちら！



「介護ロボット」と聞くと、敷居が高く感じられるかもしれませんが、こうした最新機器を体験することで福祉用具に関する不安の解消に繋がっていただきたいと思います。当センターでは介護ロボットだけでなく、食事や入浴など日常生活で取り入れやすい福祉用具も多く展示しています。また、福祉用具を利用した介護講座や、介護に関する講演会なども毎年開催していますので、お気軽にお問合せください。

沖縄県社会福祉協議会 介護実習・普及センター

所在地 那覇市首里石嶺町 4-373-1
県総合福祉センター東棟 1 階
電話 098-882-1484
FAX 098-882-1486
開館時間 月曜日～金曜日
9 時～17 時
(土・日・祝祭日・年末年始は休み)



沖縄県福祉人材研修センターで実施する貸付制度のご案内 介護職員や保育士の皆さんを応援します！！

お問い合わせは、沖縄県福祉人材研修センター 貸付事業担当まで tel.098-882-5703

再就職準備金貸付 介護の職場へ復帰することをお考えの方へ

介護職へ復帰する為の費用として40万円以内で貸付

2年間、県内の指定された施設等において介護職として従事すると、貸付金が全額返還免除となります。

■ 次の要件を満たす方(※就職から3か月以内の方)

- ①介護保険サービス事業所で介護職員としての実務経験が1年以上ある方
- ②下記のいずれかの資格等を有する方
ア.介護福祉士 イ.介護福祉士実務者研修終了
ウ.介護職員初任者研修修了
エ.旧研修課程修了(介護職員基礎研修、ホームヘルパー1級又は2級)
- ③介護保険サービス事業所で介護職員として就職する方
- ④直近の介護職員としての離職から3か月以上経過している方
- ⑤沖縄県福祉人材研修センターに
※1 離職介護福祉士等届出登録を行った方
※1 届出の情報をもとに離職された方とつながりを保ち、介護の仕事から一度離れても、個々の状況に応じて復帰への働きかけをおこなう制度となります。

介護分野・障害分野就職支援金 他業種から介護職への転職をお考えの方へ

他業種で働いていた方が介護・障害分野へ 転職する際に必要となる費用を20万円以内で貸付

2年間、県内の指定された施設等において介護職として従事すると、貸付金が全額返還免除となります。

※就職する事業所・施設等の分野によって、ご利用できる貸付資金の種類が異なります。

■ 次の要件を満たす方(※就職から3か月以内の方)

- ①初任者研修以上を修了した方
- ②各分野(介護・障害)において業界未経験で就職する方
- ③国や地方自治体の類似の事業として
給付・貸付を受けたことがない方

就職準備金貸付 沖縄県在住の潜在保育士の方へ

保育士資格を持つ保育士への就職支援のため 就職に必要な費用として、40万円以内で貸付

2年間、県内の指定された施設等において保育士として従事すると、貸付金が全額返還免除となります。

■ 次の要件を満たす方(※就職から3か月以内の方)

- ①保育士資格取得後、保育士登録をしている方(保育士修学資金貸付にて就職準備金の貸付を受けた方は除く)
 - ②指定の保育所等を離職した方、または保育士としての勤務経験のない方
- ※上記の要件は令和7年4月1日より変更する場合があります。詳しくは上記お問い合わせまでご連絡ください。

未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付 未就学児を持つ保育士の方へ

未就学児を持つ保育士に対して保育料の一部を貸付 (未就学児の保育料の半額、月額27,000円を上限に貸付、貸付期間は1年間)

2年間、県内の指定された施設等において保育士として従事すると、貸付金が全額返還免除となります。

■ 次の要件を満たす方(※就職から3か月以内の方)

- ①未就学児を持つ保育士であって、県内の指定の施設に新たに勤務する方
- ②未就学児を持つ保育士であって、県内の指定の施設に、産後休暇又は育児休業から復職する方

令和6年度 NHK 歳末たすけあい募金 助成団体が決定しました!



歳末たすけあい運動は、誰もが地域社会の一員として孤立することなく、安心して新たな年を迎えることが出来るよう共同募金の一環として実施しています。

県内では、物価高騰などの影響で生活困窮者の増大が大きな課題となっており、本運動に寄せられた募金を活用して、困窮世帯や社会的に弱い立場にある方々への支援活動へ助成を決定しました。

児童養護施設

入所児童・里親委託児童の進学や就職に伴う支度金

施設名	内定額(円)
なごみ	280,000
美さと児童園	360,000
石嶺児童園	280,000
愛隣園	280,000
島添の丘	280,000
青雲寮	70,000
漲水学園	70,000
ならさ	70,000
沖縄県里親会	780,000
島添ホーム	70,000
計	2,540,000

離島社会福祉協議会

要支援高齢者・障害児者・生活困窮世帯への見舞金

市町村名	内定額(円)
伊平屋村	195,000
渡嘉敷村	40,000
座間味村	90,000
粟国村	125,000
渡名喜村	250,000
北大東村	50,000
多良間村	170,000
計	920,000



▲内定通知書の受け取り



▲助成団体の皆さん

非営利団体

物価高騰等の影響により困窮している世帯への生活支援活動や居場所提供活動等

施設名	事業内容	内定額(円)
(一社) kokua	フードパントリー kokua	200,000
(特非) ゆい・ハート福祉会	生活支援活動	200,000
共育ステーションつむぎ	ベビーミルク支援プロジェクト	200,000
(一社) おきなわ子ども未来ネットワーク	生活家電応援キャンペーン	200,000
(特非) 子育て応援隊いっぽ	いっぽ外国ルーツ支援事業	150,000
女性を元気にする会	県内の困窮・孤立世帯と食料支援を通して繋がろう!	200,000
(一社) ある	実家に頼れない若者たちの生活困窮を支援する事業	200,000
生理の貧困を考える会おきなわ	子ども食堂・児童館・NPO・児童養護施設などへの生理用品の寄付活動	200,000
計		1,550,000



「愛ちゃんと希望くんのチムぢゅらさプロジェクト」：サントリーフーズ沖縄株式会社



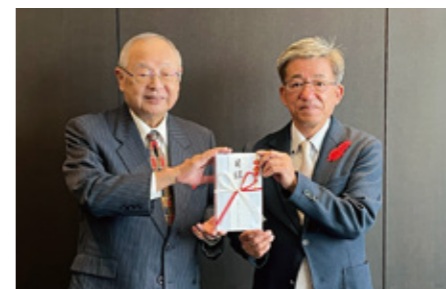
赤い羽根・歳末たすけあい：沖縄銀行



赤い羽根・歳末たすけあい：琉球銀行



歳末たすけあい：メサイア演奏会



歳末たすけあい：沖縄セルラー電話株式会社



赤い羽根：(一社) 沖縄県歯科医師会

寄付・寄贈者芳名

(令和6年4月～12月)

共同募金へご協力いただいた企業団体さまをご紹介します。



りゅうちゃん募金：第44回チャリティーいけばな展



歳末たすけあい：(一社) 沖縄県洋菓子協会



歳末たすけあい：(公社) 久米国鼎会

共同募金へのご寄付

- ★具志堅グループ琉鵬会
- ★一般社団法人沖縄県医師会
- ★株式会社サンエー

歳末たすけあいへのご寄付

- ★具志堅グループ琉鵬会
- ★株式会社丸大
- ★沖縄銀行労働組合
- ★シェラトン沖縄サンマリーナリゾート

りゅうちゃん子どもの希望募金へのご寄付

- ★沖縄フューチャーボランティアベースボール
- ★セコム琉球株式会社
- ★中部興産株式会社
- ★沖縄明治乳業株式会社
- ★株式会社メガネ一番
- ★沖縄電力株式会社
- ★三和金属株式会社
- ★琉球セメント株式会社
- ★CCCMK ホールディングス株式会社
- ★沖縄ビルメンテナンス株式会社
- ★株式会社求人おきなわ
- ★株式会社デザインスタジオ琉球楽団



歳末たすけあい：株式会社沖縄製粉



歳末たすけあい：沖縄県ボウリング場協会



歳末たすけあい：沖縄明治乳業株式会社



歳末たすけあい：株式会社オキコ

沖縄県共同募金会
tel.098-882-4353